

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2009年20週(5月2週 5/11~5/17)
2009年4月報

愛知県感染症情報センター(愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp

連絡先: 052-910-5619(企画情報部)

今週の内容

トピックス

新型インフルエンザ(H1N1)
集団かぜの発生について(第46~48報)
警報開始・終息基準値の変更について
病原体検出情報
定点医療機関コメント
マイコプラズマ、感染性胃腸炎、インフルエンザ、溶連菌感染症、水痘等

全数把握感染症発生状況 ()内は件数。

結核(21)、腸管出血性大腸菌感染症(1)、アメーバ赤痢(3)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症(1)、後天性免疫不全症候群(3)、梅毒(1)、麻しん(1)

2009年4月報

定点把握感染症報告数(保健所別、年齢別)
水痘;豊橋市保健所注意報レベル

「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf> をご覧ください。

トピックス

新型インフルエンザ(H1N1)

症例定義(5月13日再改定) <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/syoureiteigi090513.pdf>

届出様式(5月9日改定) http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/zensu_youshiki090509.pdf

新型インフルエンザウイルスについて(5月12日更新)

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/new_inf2.html

「新型インフルエンザ」ウイルス学的検体採取について(5月12日更新)

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/new_inf.html

インフルエンザ関連情報について(ネットあいち) <http://www.pref.aichi.jp/0000024410.html>

集団かぜの発生について(健康対策課発表)

	発表	集団発生施設の 管轄保健所	URL
第46報	5月18日	一宮	http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/090518_46.pdf
第47報	5月19日	瀬戸	http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/090519_47.pdf
第48報	5月20日	瀬戸	http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/090519_48.pdf

百日咳(図)

20週の定点当たり報告数は0.05人です。全国の17週の定点当たり報告数は、10年間の同時期と比較して2008年に続いて2番目です(参考ページ; IDWR2009年第17週 <http://idsc.nih.gov/idwr/kanja/idwr/idwr2009/idwr2009-17.pdf>)。

警報開始・終息基準値の変更について(咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎)

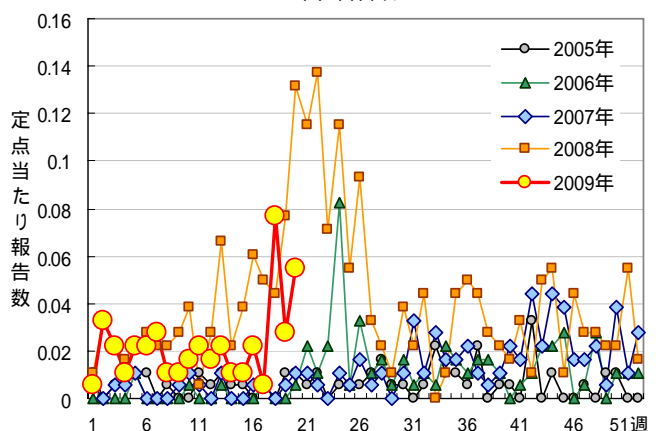
2009年20週*から以下のとおり変更されました[()内は旧基準値]。

咽頭結膜熱; 警報開始基準値 3.0 (2.0)・終息基準値 1.0 (0.1)

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎; 警報開始基準値 8.0 (4.0)・終息基準値 4.0 (2.0)

*18週報にて「18週から変更」とお知らせしましたが、20週からの変更となりました。

図 百日咳



平成20年7月以降の発症者、インフルエンザは2008/2009シーズンの検査結果です。

	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	脳炎・脳症	インフルエンザ
患者数	341	64	59	25	19	41	23	243
PV-1	1							
PV-3	3							
CV-A2			10					
CV-A4		2	12			1	2	
CV-A6			3					
CV-A10	1	2	6					
CV-A16	1	40	3				1	
EV-71		1						
CV-A9				1				
CV-B1	1		1			3	1	
CV-B3	1					1		
CV-B4			2			3		
CV-B5	3					2		
E-5						1		
E-6	1							
E-11	2		1				1	
E-18		1						
E-30	1	2		1		10		
HPeV-1	6							
HPeV-3		1					1	
FluAH1								126
FluAH3								48
FluB								25
MuV						1		
Rota A G1	13							
Rota A G3	3							
NV-G	1							
NV-G	93							
SV	3							
Ad-1	1			2				
Ad-2	6		1	1				
Ad-3	9			15	4		1	1
Ad-4			1	2				
Ad-5	2					1		1
Ad-6	2							
Ad-31	2							
Ad-41	7							
検査中	23	2	2	0	2	2	1	2
陰性	168	13	17	4	13	16	15	41

略：ウイルス名(他の略名)

Ad : アデノウイルス	FluAH1 : A ソ連型インフルエンザウイルス	MuV : ムンプスウイルス
CV : コクサッキーウイルス(Cox.)	FluAH3 : A 香港型インフルエンザウイルス	NV : ノロウイルス
E : エコーウイルス	FluB : B 型インフルエンザウイルス	PV : ポリオウイルス
EV-71 : エンテロウイルス 71 型	HPeV : ヒトパレコウイルス	Rota A : A 群ロタウイルス
		SV : サボウイルス

関連ページ

- 1) 「疾患別ウイルス検出情報」 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/prompt.html>
- 2) 「2008/09 シーズンインフルエンザウイルス分離状況」
http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/infbunri08_09.html

定点医療機関コメント（名古屋市除く）

尾張西部地区

マイコプラズマ気管支肺炎 3歳女
カンピロバクター胃腸炎 8歳男
インフルエンザ共に小学生 A型1名 B型1名
【一宮市 後藤小児科医院】
マイコプラズマ感染症 5名
【一宮市 ささい小児科】
マイコプラズマ感染症 5名
【一宮市 城後小児科】
インフルエンザ6名(すべてB型)
【一宮市 一宮市立市民病院】
インフルエンザは4例ともB型で、8歳の3例は全員同じ小学校です。
【稲沢市 こどものお医者さんおがわクリニック】
11歳インフルはB型です。
【一宮市 水野医院】

母親と子供で手足口病の方がみえました。
【犬山市 武内医院】
インフルエンザ1名(B型)。
溶連菌感染症、水痘目立ちます。
感染性胃腸炎減少しています。
【江南市 みやぐちこどもクリニック】
溶連菌多発。
【岩倉市 なかよしこどもクリニック】
2歳男 カンピロバクター検出されました。
【春日町 丹羽医院】
インフルエンザB型1名
【北名古屋市 田中クリニック】
インフルエンザ0名。
【津島市 医療法人参育会加藤医院】

尾張東部地区

インフルエンザはB型2名。
百日咳5歳女(ワクチン済、山口株1280倍)。
溶連菌感染が多い。
【瀬戸市 津田こどもクリニック】
インフルエンザB型2例。
その他溶連菌感染症、水痘、突発疹、いずれも散発。
【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】
RSウイルス感染症続いています。
インフルエンザウイルス感染症はB型のみでした。
【春日井市 春日井市民病院】
インフルエンザなし。
水痘増加。
感染性胃腸炎少々。
【春日井市 朝宮こどもクリニック】
胃腸炎は少し落ち着いてきたようです。
原因不明の高熱が見られます。(インフルエンザ陰性)。
インフルエンザはB型が1名だけでした。
【春日井市 朝宮こどもクリニック】
インフルエンザ2例はB型です。
【小牧市 志水こどもクリニック】
溶連菌と水痘が多いようです。
【小牧市 医療法人心正会鈴木小児科】
インフルエンザB型。
【小牧市 医療法人心正会鈴木小児科】
インフルエンザA1名
百日咳 48歳女、17歳女
病原大腸菌O25 82歳女 VT(-)
【半田市 医療法人林医院】

B型インフルエンザ2名
【南知多町 医療法人大岩医院】
4歳男 カンピロバクター(+)1名
B型インフルエンザ2名
【半田市 医療法人敬おっかわこどもクリニック】
13歳男 カンピロバクター腸炎
12歳男 カンピロバクター腸炎
【美浜町 厚生連知多厚生病院】
H21.5.14 感染性胃腸炎(ロタウイルス)4歳女
【東海市 東海市民病院】
インフルエンザB型 30~39歳 女 1名
40~49歳 男 1名
インフルエンザはB型のみです。
【東海市 こいで内科医院】
感染性胃腸炎が多いです。
10歳 カンピロバクター 病原大腸菌O6
9歳 病原大腸菌O74
0歳 病原大腸菌O74
3歳 病原大腸菌O15
A群溶連菌感染症が増えました。
アデノウイルス感染症 2名(咽頭結膜熱・扁桃炎)
ヘルパンギーナ 2名
インフルエンザB型 2名
ヘルペス歯肉口内炎 1名(1歳)
【東海市 もしもしこどもクリニック】
7歳男 病原大腸菌O18(+)ペロトキシ(-)
11歳女 インフルエンザA型
6歳男 病原大腸菌O126(+)ペロトキシ(-)
4歳男 インフルエンザB型
【大府市 まえはらこどもクリニック】

西三河地区

StrepA (+) 3名
インフルエンザB型 8歳男
E.coli (O6)10歳男
【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】
インフルエンザB型 1名
【豊田市 すくすくこどもクリニック】
インフルエンザは2名ともB型です。
【岡崎市 医療法人深田小児科】
カンピロバクター(+)1歳男
インフルエンザは0でした。
【岡崎市 花田こどもクリニック】
特記すべきことはありません。
【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】
5歳女 病原性大腸菌O25(+)VT(-)
インフルエンザB型 1名
9歳女 カンピロバクター
1歳女 アデノ
1歳女 病原性大腸菌O74(+)VT(-)
【岡崎市 にいのみ小児科】
8か月男 病原大腸菌O1
2歳男 病原大腸菌O1
12歳女 病原大腸菌O25
32歳女 病原大腸菌O1
【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】

インフルエンザB型 1名
【岡崎市 医療法人志貴こどもクリニック】
インフルエンザB型 3名(予防接種済3名、
他院にて診断2名)
【岡崎市 栗屋医院】
溶連菌感染症が目立ちます。
【碧南市 永井小児クリニック】
マイコ気管支炎 11歳
【刈谷市 田和小児科医院】
アデノウイルス 4名
【知立市 宮谷クリニック】
インフルエンザA型が1名発症しました。
【三好町 三好町民病院】
アデノウイルス感染症 1歳男
カンピロバクター 9歳男
病大菌 4歳男 O1 VT(-)
0歳女 O25 VT(-)
4歳男 O18 VT(-)
【幸田町 とみた小児科】
ヘルペス歯肉口内炎2名
ロタウイルスが多い
【西尾市 やすい小児科】
6歳男 サルモネラ腸炎O8(+)
45歳男 カンピロバクター腸炎
インフルエンザはB型のみ2名
【西尾市 山岸クリニック】

東三河地区

アデノ扁桃炎 1名
【豊橋市 マミーローズクリニック】
A群溶連菌感染症流行中
7歳女 サルモネラ腸炎
【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】
溶連菌感染症散発中。
水痘も多くみられます。
【豊橋市 あずまだこどもクリニック】
インフルエンザB型 3名
【豊橋市 羽柴クリニック】

B(+)です。
【豊川市 豊川市民病院】
カンピロバクター8歳男
季節性インフルエンザは、みられなくなりました。
アデノウイルス感染症がふえつつあります。
【豊川市 ささき小児科】
百日咳罹患児は、祖母の百日咳によるものです。
DPT済です。
【田原市 かわせ小児科】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2009年5月20日現在

一～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedeki_jun080512.pdf

結核（二類感染症）

報告保健所	2009年20週報告数			2009年累計(1～20週)		
	総数	喀痰塗抹検査陽性者数再掲	無症状病原体保有者再掲	総数	喀痰塗抹検査陽性者数再掲	無症状病原体保有者再掲
名古屋市(16保健所合計)	4	2		289	80	41
豊田市	1			35	9	4
豊橋市	2	2		24	6	1
岡崎市				16	5	3
一宮	2	2		47	16	6
瀬戸	2	1		53	19	11
半田				17	5	2
春日井				36	16	5
豊川				20	8	4
津島				22	5	3
西尾				12	3	3
江南	6	1		45	11	5
新城				6	2	1
知多	3	2		31	12	6
師勝				13	5	
衣浦東部	1			49	18	11
合計	21	10	0	715	220	106

腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	名古屋市	18歳	男	5/7	5/10	5/13	O26、VT1(+)

四類・五類感染症（全数把握）（推定感染経路、推定感染地域は確定も含む）

アメーバ赤痢（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	春日井	71歳	男	腸管アメーバ症	不明	国内
2	知多	61歳	男	腸管アメーバ症	性的接触	国内
3	衣浦東部	40歳	男	腸管アメーバ症	不明	国内

劇症型溶血性レンサ球菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染地域
1	名古屋市	31歳	女	国内

後天性免疫不全症候群（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	26歳	男	その他	性的接触	国内
2	名古屋市	41歳	男	無症候群キャリア	性的接触	国内
3	名古屋市	24歳	男	無症候群キャリア	性的接触	国内

梅毒（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	48歳	男	早期顕症	性的接触	中華人民共和国
2	豊川	41歳	男	無症候	性的接触	国内

麻しん（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	岡崎市	0歳9か月	女	無	国内

2009年4月報 (2009年5月18日現在)

4月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況 [診断日に基づく集計。()は無症状病原体保有者再掲。]

2008～2009年に報告のあった 疾病名および病型 ()内は全数把握対象疾病数		2009年4月			2009年 累計 <愛知県全体>	2008年 総計 <愛知県全体>	
		愛知県 (名古屋を除く)	名古屋	愛知県全体			
一類 (7)	発生報告なし	0	0	0	0	0	
二類 (5)	結核	82 (5)	61 (7)	143 (12)	648 (94)	2,054 (331)	
三類 (5)	コレラ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	
	細菌性赤痢	1 (0)	1 (0)	2 (0)	4 (0)	14 (0)	
	腸管出血性大腸菌感染症	1 (0)	2 (1)	3 (1) #	13 (5)	167 (32)	
	腸チフス	1 (0)	1 (0)	2 (0)	2 (0)	4 (1)	
	パラチフス	0 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	2 (0)	
四類 (41)	E型肝炎	0	1	1	1	1	
	A型肝炎	0	0	0	3	4	
	エキノкокクス症	0	0	0	0	1	
	オウム病	0	0	0	1	0	
	Q熱	0	0	0	0	1	
	つつが虫病	0	0	0	0	6	
	デング熱	0	0	0	1	12	
	日本脳炎	0	0	0	0	1	
	ブルセラ症	0	0	0	0	2	
	マラリア	0	0	0	0	6	
	レジオネラ症	2	0	2	10	57	
五類 (14)	アメーバ赤痢	2	0	2	21	58	
	ウイルス性肝炎	1	0	1	4	15	
	内訳	B型	0	0	0	3	15
		C型	1	0	1	1	
	急性脳炎	0	0	0	2	10	
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	2	8	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	0	1	4	10	
	後天性免疫不全症候群	0	3	3	31	109	
	内訳	無症候性キャリア	0	2	2	19	55
		AIDS	0	1	1	10	47
		その他	0	0	0	2	7
	ジアルジア症	1	0	1	1	1	
	梅毒	2	0	2	13	69	
	内訳	無症候	2	0	2	5	26
		早期顕症	0	0	0	8	40
		晩期顕症	0	0	0	0	2
		先天梅毒	0	0	0	0	1
破傷風	0	0	0	1	12		
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	1	6		
風しん	1	0	1	3	3		
麻しん	4	1	5	12	198		
総計		99	71	170	779	2,832	

#; 0157; 3件

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

	疾病名	2009年4月			2009年 累計	2008年 総計
		愛知県 <名古屋市除く>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県 全体	愛知県 全体
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア	70	54	124	526	1,890
	性器ヘルペスウイルス感染症	23	20	43	193	693
	尖圭コンジローマ	17	20	37	136	502
	淋菌感染症	21	22	43	218	789
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	61	9	70	351	1,203
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	12	0	12	41	106
	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	1	5

感染症の類型及び定義(感染症法)

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症 (5疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。鳥インフルエンザ(H5N1)が平成20年5月12日の法改正により従前の四類感染症鳥インフルエンザから除かれ、二類感染症に追加された。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症 (41疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症 (41疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスによるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。

